

第4回全国ムスリムミーティング（兼：第1回日本イスラーム学術会議大会）

2017/08/05（於：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス）

共同声明文

現代日本社会における「ダアワ」に関する9か条

1. ダアワを、すべての人々が分かち合える真理に則して「人間として」生きる努力への呼びかけとする。
2. ダアワに際して、私たち一人ひとは、世界の創造主の代理人であるとともに、弱さを抱えた存在であることを忘れない。
3. ダアワの基礎は、一人ひとりの学びにある。自らのイスラームについての思い込みを見つめなおすことから始めたい。
4. ダアワによって、すべての人々は、世界の創造主に愛され、守られているという真実に気づいてもらうことができる。
5. 高圧的で教条主義的なダアワでは、効果が期待できない。一方的な押し付けにならぬよう、相手方の状況を十分に斟酌しながら行わなければならない。
6. 挨拶をはじめとする礼儀、相手に対する感謝の言葉、惜しみのない笑顔はダアワの出発点である。家族の姿勢が子供にとってのよき手本になることを忘れない。
7. 近隣の人々との良好な関係作り自体が大きなダアワとなる。
8. マスジド（礼拝所）はダアワのための重要な窓口になり得る。日本語による積極的な情報発信や、日本人を対象とした幅広い活動が効果的である。
9. 日本イスラーム学術会議は、時代と場所に即したかたちで真理への呼びかけを行うことができる人材の育成を課題と位置付け、活動目的の一つとする。

取りまとめ責任者：

奥田 敦

慶應義塾大学総合政策学部教授

慶應義塾大学 SFC 研究所イスラーム研究・ラボ代表

日本イスラーム学術会議会長